

## 令和4年度 構成団体における福祉のまちづくりに関する取組

団体名	取組状況（予定を含む）
(公財)ノーマライゼーション住宅財団	<p>○第34回「福祉住宅・福祉小規模集合住宅バリアフリー」建築助成 総額300万</p> <p>1 趣旨 「すべての人が共に生きることがノーマル（正常）である」というノーマライゼーション理念に基づき、高齢者や障がい者にとっても安全・安心して快適に暮らせる住生活環境の整備・向上のため、助成金により福祉住宅の建築を支援いたします。</p> <p>2 助成の対象者 高齢者や障がい者が安心して暮らせる住宅、また将来身体機能が低下しても安心して生活できる住宅。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉住宅：新築（バリアフリーにした物件）やりフォーム（住宅内外の手すり・スロープ・トイレ・浴室等）の住宅改善・改修した建築主。</li> <li>・福祉小規模集合住宅：グループホームや高齢者向けアパートなど（おおむね10名程度居住）の建築主。</li> </ul> <p>3 応募方法 (公財)ノーマライゼーション住宅財団のホームページから資料及び応募方法詳細</p> <p>4 審査 有識者による審査会にて</p> <p>5 応募期間 毎年5月1日から11月30日締切り必着（年1回公募）</p> <p>6 決定および助成金の支給 毎年 発表：翌年の2月 支給：同じく翌年の3月 【尚、助成対象物件は当財団発行の福祉住宅助成実例集『ふれあい』に取材・掲載の承諾】</p> <p>7 後援 北海道・社会福祉法人北海道社会福祉協議会 札幌市・社会福祉法人札幌市社会福祉協議会 北海道デザイン協議会</p>
(一社)日本エレベーター協会	<p>1 例年の活動 「エレベーターの日」キャンペーン実施予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：令和4年11月1日～10日</li> <li>・内 容：エレベーター・エスカレーター安全利用についての啓発活動</li> </ul> <p>【ポスター掲出先】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR北海道 電車内</li> <li>・札幌市交通局 市営地下鉄電車内</li> <li>・札幌市消防局 掲示板</li> <li>・札幌市立小学校 校内</li> </ul>

団体名	取組状況（予定を含む）
(一社)北海道 ハイヤー協会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ユニバーサルデザイン (UD) タクシー ドライバー研修会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師による講義を中心に、映像や演習・スロープの設置等、車いすを使用して実践実習 (1日間)</li> <li>3月17日 (33名)</li> <li>4月14日 (31名)</li> <li>9月 1日 (48名)</li> <li>9月15日 (51名)</li> <li>※10月と2月の年度内に同規模の研修会を2回ずつ開催予定</li> </ul> </li> <li>2 ユニバーサルデザイン (UD) タクシーの導入促進               <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年 4月1日 1, 176両</li> <li style="padding-left: 40px;">8月1日 2, 204両 28両導入</li> </ul> </li> <li>3 移動等円滑化評価会議北海道分科会 (北海道運輸局主催)               <ul style="list-style-type: none"> <li>8月29日 オンライン参加</li> </ul> </li> </ol>
北海道社会福 祉協議会	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域支え合い活動推進セミナー (道内14地区にて実施)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日: 地区により異なる</li> <li>・開催方法: 地区により異なる</li> <li>・開催内容: 講義、実践発表等</li> </ul> </li> <li>2 コミュニティソーシャルワーク実践者養成研修               <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日: 令和4年10月27日~28日</li> <li>・開催方法: オンライン開催</li> <li>・開催内容: 講義、実践発表、演習</li> </ul> </li> <li>3 生活支援コーディネーター連絡会議               <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日: 令和4年11月 (予定)</li> <li>・開催方法: オンライン開催</li> <li>・開催内容: 基調説明、実践発表、グループ討議等</li> </ul> </li> <li>4 地域共生社会推進研究協議会               <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日: 令和5年1月 (予定)</li> <li>・開催方法: 未定</li> <li>・開催内容: 未定</li> </ul> </li> </ol>

団体名	取組状況（予定を含む）
NPO 法人札幌 チャレンジド	<p>～ 視覚障がい者 ICT 就労促進検討会の設置 ～</p> <p>1 背景・目的</p> <p>・札幌チャレンジドでは、2001 年から視覚障がい者へのパソコン講習を行い、現在まで多くの視覚障がい者の ICT 利活用支援を行ってきた。また、2011 年からは就労移行支援サービスを開始し、障がい者の就職及び定着支援を行っている。その中で、視覚障がい者の企業等への事務職としての就職も 5 名実現している。コロナ禍の影響や時代の変化も含めて、視覚障がい者が、あはき師以外の職業に従事したいニーズが増えている。</p> <p>視覚障がい者がパソコンスキルを身に付け企業の事務職として就労することは可能であるが、北海道内では、採用する企業が極めて少ないのが現状である。この現状を打開し、視覚障がい者が企業で事務職として働くことも選択できる社会を創っていく為に、関係機関が連携し、企業の視覚障がい者雇用を促進することを目的に検討を行う。</p> <p>2 主な検討項目</p> <p>(1)現状把握・課題整理</p> <p>(2)先進事例調査</p> <p>(3)北海道内での推進に向けた取り組み内容の検討</p> <p>(4)継続的な連携体制の構築</p> <p>3 参加メンバー</p> <p>・北海道障害者職業センター、札幌公共職業安定所、北海道障がい者保健福祉課、札幌市障がい福祉課、一般社団法人北海道視覚障害者福祉連合会、公益社団法人札幌市視覚障害者福祉協会、公益財団法人北海道盲導犬協会、北海道経済連合会、北海道札幌視覚支援学校、NPO 法人札幌チャレンジド</p> <p>4 事務局</p> <p>・NPO 法人札幌チャレンジドが担当する。</p> <p>・本検討会は札幌チャレンジドが主催し、必要な経費は、札幌チャレンジドが負担する。</p> <p>7月26日に第1回検討会を開催した。</p>

団体名	取組状況（予定を含む）
北海道開発局	<p>国の施設で下記の既存庁舎のバリアフリー改修を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設名：札幌第1 地方合同庁舎</li> <li>・対策内容：多機能便所の改修・増設（全階に設置）</li> <li>・工事完成：令和4年度予定</li> </ul>
北海道運輸局	<p>1 バリアフリー教室の開催</p> <p>北海道運輸局主催による小学校及び交通事業者向けバリアフリー教室を開催し、心のバリアフリーをはじめとした社会にある様々なバリアとその除去についての理解を図っております。</p> <p>(1)令和4年度の開催実績</p> <p>令和4年7月23・24日、札幌市清田区が取組しているバス利用促進の一環として開催した「“バス知ってこ” イベント2022」に北海道運輸局も共催として参加しバリアフリー教室を実施しました。参加者78名（アンケート回答者）</p> <p>(2)令和4年度の開催予定</p> <p>全道8カ所で実施予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容：心のバリアフリーについて（講話）</li> <li style="padding-left: 2em;">接遇ガイドラインについて（講話）</li> <li style="padding-left: 2em;">北海道のバリアフリーの現状と課題（講話）</li> <li style="padding-left: 2em;">疑似体験（高齢者、視覚障害、肢体不自由等）</li> </ul> <p>※教室ごとに内容は異なります。</p> <p>2 観光施設における心のバリアフリー認定制度</p> <p>令和2年のバリアフリー法改正を受けて観光庁が創設した、ソフト面のバリアフリー対応や情報発信に積極的に取り組んでいる観光施設を対象とする「観光施設における心のバリアフリー認定制度」について、令和4年6月20日現在、道内の41の施設を含む359施設が認定されました。</p> <p>国土交通省・観光庁では観光施設のさらなるバリアフリー対応とその情報発信を支援し、ご高齢の方や障害のある方がより安全で快適な旅行をするための環境整備を推進します。</p> <p>（参考 URL）観光施設における心のバリアフリー認定制度の紹介動画や研修動画  <a href="https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics06_000339.html">https://www.mlit.go.jp/kankocho/topics06_000339.html</a></p>
（一社）北海道バス協会	<p>1 バリアフリー車両の導入促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人にやさしいバス（ノンステップバス、リフト付バス、低床スロープ付バス）導入に対する助成事業（令和4年4月1日～令和5年3月31日）</li> </ul>

団体名	取組状況（予定を含む）
北海道興行生活衛生同業組合	<p>○例年の活動</p> <p>1 全興連「バリアフリー上映実施中」B全啓発ポスターの劇場配付・掲出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリー上映とは</li> </ul> <p>視聴覚障害者の映画鑑賞の促進を図るため、2017年頃より、視覚障害者に対する音声ガイド（スマホ対応）や、聴覚障害者に対する字幕メガネの普及を業界挙げて、推進しています。また、機器に対応する上映作品も着実に増えています。</p> <p>2 全興連「青少年健全育成マニフェスト」B3版啓発ポスターの劇場配付・掲出</p> <p>*以下毎年協力</p> <p>3 法務省「社会を明るくする運動」B2版啓発ポスターの劇場配付・掲出</p> <p>4 12月厚労省「世界エイズデー」B2版啓発ポスターの劇場配付・掲出</p> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車イス専用席（スペース）の常設</li> <li>・ロビー、トイレ等館内共有施設のバリアフリー化</li> </ul> <p>以上はシネコンを中心にほとんどの劇場で改善が進んでいます。</p> <p>（研修会）この3年はコロナ禍で接客・接客等の研修会等の企画実施が出来ていません。</p>
（公社）北海道観光振興機構	<p>1 バリアフリー対応ノウハウ習得研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間：令和4年10月～12月</li> <li>・実施回数：道内5地域で各1回実施。1回3時間～6時間程度</li> <li>・参加者：各15～40名</li> <li>・内 容：講師による講義</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">疑似体験ワークショップ、入浴介助（2地域で実施）</p> <p style="padding-left: 40px;">障がい当事者との意見交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・習得資格：観光介助士（初級、中級）、入力介助（初級）</li> <li>・委託先：株式会社HKワークス、一般社団法人日本UD観光協会</li> </ul> <p>2 バリアフリー観光窓口北海道モデル調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間：令和4年6月～12月</li> <li>・内 容：産官学連によるワーキンググループ会議の実施（3回）にて、観光窓口の役割・機能を整理、先進地事例調査、新千歳空港内の課題を議論する。</li> </ul> <p style="padding-left: 40px;">アンケートの実施（1,000件）</p> <p style="padding-left: 40px;">バリアフリー観光窓口の北海道における最適モデル（北海道モデル）案の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託先：株式会社HKワークス、一般社団法人日本UD観光協会</li> </ul>